

第10回市民公開講座

主催



社会医療法人財団 白十字会

佐世保中央病院

家族で
知る
触れる



未来の
医療

体に優しい最先端手術のいま & 1day外科医体験チャレンジ!

2026
10/10 (土)

アルカスSASEBO 中ホール
13:30~15:30 (開場13:00)

入場無料

定員500名

聴講事前申し込み不要

講演

「小さなキズで行う心臓手術」

佐世保中央病院 心臓血管外科部長 中路 俊

【座長】佐世保中央病院副院長 兼 低侵襲治療センターセンター長 谷口 真一郎

「20年で大きく変わった肺癌治療～より身体への負担を少なく、より確実に治す時代へ～」

佐世保中央病院 呼吸器外科部長 兼 低侵襲治療センター副センター長 町野 隆介

【座長】長崎大学病院 外科学講座教授 松本 桂太郎

体験

最新の医療技術、外科医体験 場所:3階小・中会議室 時間:講演終了後(15:30~16:30)



高校生の皆さん
ぜひ遊びに来てねー

豚の心臓観察体験 電気メス体験 腹腔鏡体験

定員20名 応募〆切日10月4日(日) 詳細は裏面をご覧ください

※講演終了後、中ホール入り口にて看護師の無料相談窓口を開設します

申し込みは裏面へ

後援 佐世保市 佐世保市医師会 KTNテレビ長崎 NCC長崎文化放送 NIB長崎国際テレビ
NBC長崎放送 TVSテレビ佐世保 毎日新聞社 長崎新聞社 西日本新聞社

お問い合わせ / 佐世保中央病院 TEL0956-33-7151

1day外科医体験チャレンジ！

場所：アルカスSASEBO 3階 小・中会議室 時間：講演終了後
(15:30～16:30)

定員
20名 要予約

低侵襲医療とは

体への負担をできるだけ小さくしながら治療を行う医療のことです。かつて手術は大きく切開するのが常識でしたが、内視鏡や顕微鏡などの技術進化により、小さな傷で同等以上の治療が可能になりました。近年はロボット支援手術やAI診断も加わり、患者さんの回復を早め、生活の質を守る医療へと発展しています。当院で使用している低侵襲機器の一部です。ご体験ください。

知_る触_{れる}体験メニュー

【本物の豚の心臓】 触れて知る、低侵襲医療のすごさと難しさ

心臓外科医は、どのように心臓と向き合っているのか——。使用するのは、人間と構造がよく似た実際の豚の心臓。実物を手に取り、弁や血管、心筋の質感を確かめながら、命を支える臓器のリアルを学びます。本物の心臓に触れると、体を大きく切らずに小さな傷から精密な手術を行う「低侵襲医療」が、いかに高度で難しい技術かを肌で感じられるはずです。医療の進化のすごさが、きっと実感として伝わります。「触れて、考える」ことで、医療の奥深さや面白さが見えてくるはずです。



【電気メス】 切って、止めて。“熱”の力を体感しよう！

ふつうのメスは刃で切りますが、「電気メス」は電気の熱の力で組織を切ったり、出血を止めたりできる不思議な道具です。切ると同時に血管を固めてくれるので、出血を最小限におさえられるのが大きな特長。手術を安全に、すばやく進めるために欠かせません。体験会では、本物さながらの鶏肉を使って、電気メスがどんなふうに“切る”“止める”のかを安全に体験できます。ペン先ほどの小さな道具に秘められた、医療のテクノロジーの奥深さを、自分の手で確かめてみよう！



【腹腔鏡（ふくくうきょう）】 小さな穴から、体の中を大冒険！

「腹腔鏡」は、おなかに数ミリの小さな穴をあけ、そこから細長いカメラと器具を入れて手術する方法です。大きく切り開かないので、傷が小さく、体への負担が少なく、回復も早いのが魅力。モニターに映る体の中を見ながら、細長い器具を巧みにあやつります。体験会では、実際の器具を使って、小さな穴の向こうで物をつかんだり運んだりする“手術トレーニング”に挑戦！見た目以上に難しく、成功したときの達成感は格別です。あなたの器用さと集中力を試してみよう。ゲーム感覚で医療の技を体験できます。



その他
拍動する心臓に血管をぬう手術と
カメラで気道を確保する挑戦も
体験できるよ！



申し込みは
こちら

定員20名 応募〆切日10月4日(日)
定員に達し次第受けを終了いたします。
体験ブースは全部で7つあり、そのうち
2つ以上体験いただけます。
なお、イベント内容は都合により一部変更
となる場合がございます。
予めご了承ください。